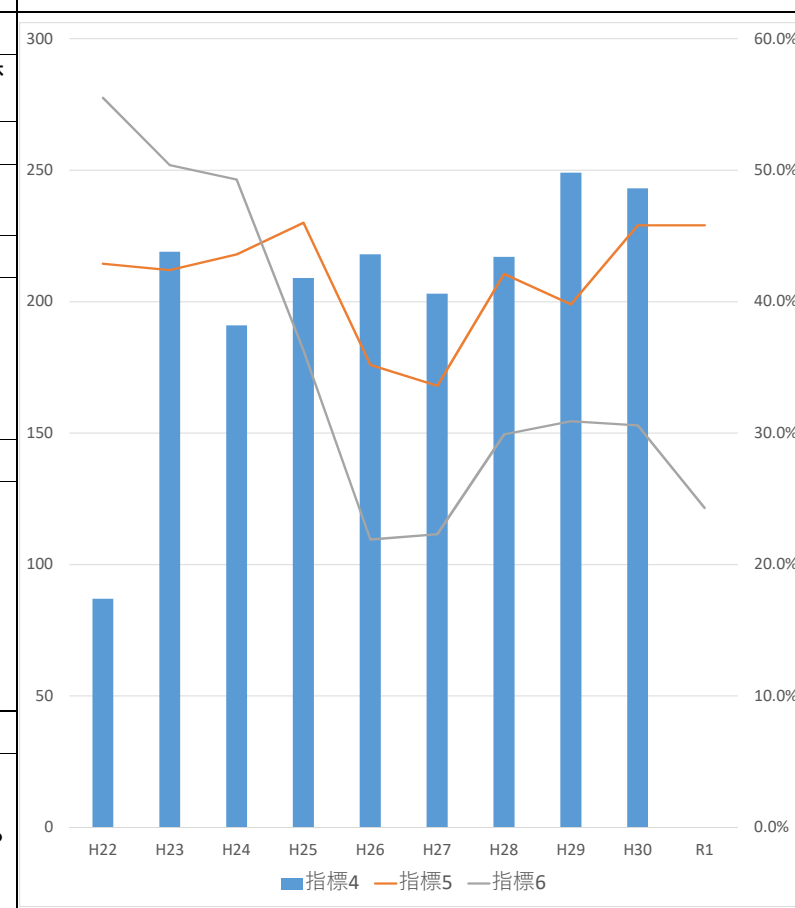
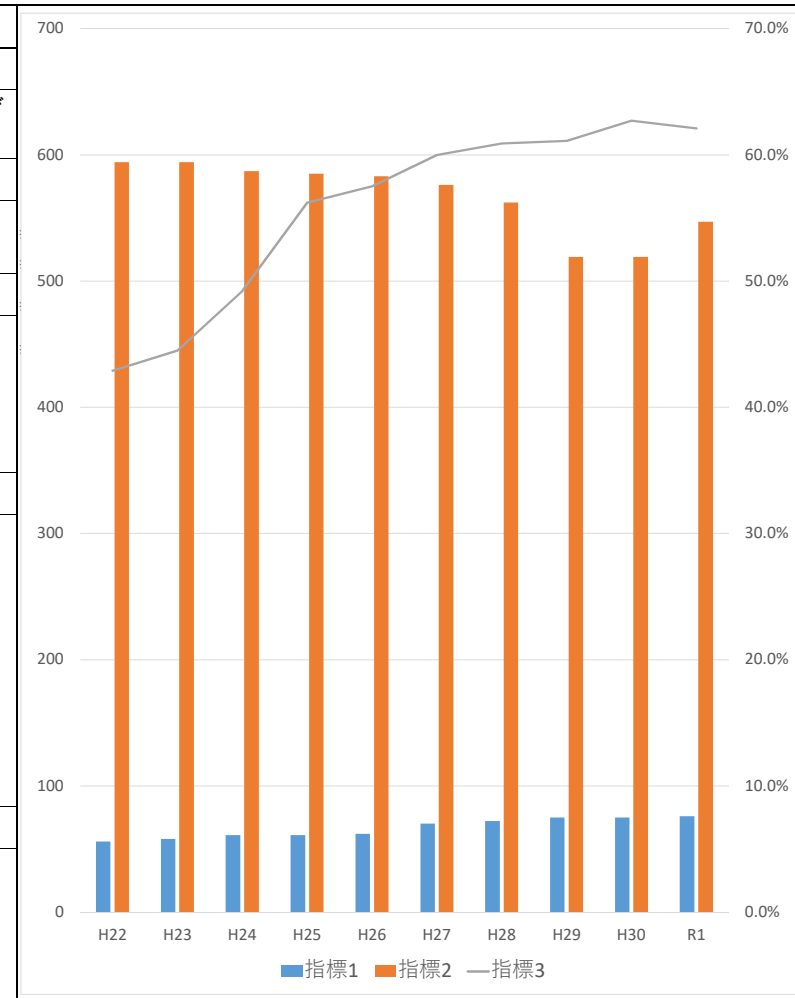


取組検証(案)

美しいまち(まちづくり)	
① 循環する水の路を愛しみ、流域文化の高さと美しさを体感できる	取組9:いなみ野ため池ミュージアムを核としたプロジェクトを推進する 東播磨地域の象徴であるため池をはじめとした水辺地域全体をまるごと博物館に見立てた「いなみ野ため池ミュージアム」を核として、それぞれの水辺地域をつなぐネットワークである「循環する水の路」が培ってきた流域文化を探り、これを発信する。 東播磨地域ビジョン委員会
	【東播磨コミュニティプランナーズ】 「新川池」を中心に、ため池と地域住民の関係について考えるきっかけ作りとして外来種の駆除やかい掘りのイベントを開催した。
	行政 水辺の魅力アップ交流促進事業 ため池コウノトリプロジェクトの推進 オ池オリンピック2020の開催 東播磨水辺名所づくり 官学連携による持続可能な水辺地域づくりの推進
	検証(指標)
	ため池協議会の設立状況(指標1) 東播磨県民局水辺地域づくり担当調べ 【H22】56団体 → 【H29】75団体 → 【H30】75団体 → 【R1】76団体
	ため池数(指標2) 兵庫県加古川流域土地改良事務所調べ 【H22】594箇所 → 【H29】519箇所 → 【H30】519箇所 → 【R1】547箇所
	ため池整備率(指標3) 兵庫県加古川流域土地改良事務所調べ 【H22】42.9% → 【H29】61.1% → 【H30】62.7% → 【R1】62.1% 296/477 297/574 ため池の整備率は、防災重点ため池を分母とし、ため池改修工事に着手した箇所数を整備率として計上していたが、本年度より分母をため池全数として算出することとした。
	評価 地域ビジョン委員会では、ため池の自然やその管理に関わる人々について、地域に発信する取組がおこなわれた。 行政ではため池文化の発信のほか、コウノトリなどを通じて人とため池の共生を図った。 ため池の整備率は上昇し、ため池協議会の数も増加している。 協議会リーダーの世代交代に伴う新たな組織体制の構築や、ため池という地域資源を活用したさらなる価値の創出に向けた取組が必要。
	取組10:豊かな水辺地域の生態系を学び、環境保全活動に取り組む 豊かな水辺地域の生態系を保全するため、水辺環境の再生を図る実践活動を展開するとともに、上流域の活動と連携しながら、多様な活動主体が、森・川・海の再生に向けた体験型環境学習事業に参画する。 東播磨地域ビジョン委員会
	【水辺に学ぶプロジェクト】 地域の豊かな水辺を発信するため、小学生を対象とした生き物観察会の開催や希少生物の保護活動をおこなった。
行政 ため池協議会水系ネットワーク化の推進 地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催 水辺の魅力アップ交流促進事業 人と野生動物が共生のできる森づくりと地域の活性化 豊かな海の再生プロジェクト	
検証(指標)	
池干しをしているため池の数(指標4) 東播磨県民局水辺地域づくり担当調べ 【H22】87箇所 → 【H28】217箇所 → 【H29】249箇所 → 【H30】243箇所	
住んでいる市・町の自然環境は守られていると思う人の割合(指標5) 兵庫のゆたかき指標 【H22】42.9% → 【H29】39.8% → 【H30】45.8% → 【R1】45.8% (7位)	
住んでいる市・町で、自然の生き物(動物・植物)とふれあう機会があると思う人の割合(指標6) 兵庫のゆたかき指標 身近に自然とふれあえる場がある人の割合(H24まで) 【H22】55.5% → 【H29】30.9% → 【H30】30.6% → 【R1】24.3% (10位)	
評価 地域ビジョン委員会では、住民が加古川河川敷・河口の自然とふれあう体験学習をおこなった。 行政では生態系の保護や、地域社会との共生を目的とした取組をおこなった。 池干しがおこなわれているため池は増加傾向にある。また、自然環境が守られていると思う人の割合は若干増加している。一方で自然とふれあう機会があると考える人の割合が減少している。 身近な環境には素晴らしい自然があることを感じることができ取組がさらに必要。	



③ 持続可能な環境型地域のモデルとなれる	取組1 1： 資源の循環を促し、環境への負荷を低減する活動に取り組む 家庭や事業所におけるごみの減量をはじめとする3R活動をさらに深めるとともに、ゴミや不要となるモノの資源化を図り、環境に優しい行動が、地域の経済的な活動として、持続できる仕組みを構築し、展開する。
	東播磨地域ビジョン委員会
	該当なし
	行政
	地域でe~co（えーこ）とクリーン作戦 「廃棄物エコ手形制度」の推進 不法投棄防止対策支援 人工衛星画像を活用した不法投棄監視活動
	検証（指標）
	リサイクル率（一般廃棄物）（指標7） 兵庫県一般廃棄物処理（兵庫県環境整備課） 【H22】17.0% → 【H28】17.0% → 【H29】18.6% ゴミの分別やリサイクルに取り組んでいる人の割合（指標8） 兵庫のゆたかさ指標 ゴミの分別やリサイクルに協力している人の割合（H24まで） 【H22】90.8% → 【H29】93.2% → 【H30】89.3% → 【R1】90.7%（5位） 住んでいる地域のまちなみはきれいだと思う人の割合（指標9） 兵庫のゆたかさ指標 住んでいる地域はきれいだと思う人の割合（H24まで） 【H22】54.9% → 【H29】55.3% → 【H30】56.7% → 【R1】53.5%（9位）
	評価
	行政はゴミの不法投棄への対策や、住民のゴミ分別を推進した。 リサイクル率は緩やかに増加しているが、ゴミに対する意識などは大きな変化は見られなかった。 ゴミの分別について定着がうかがえるものの、男性や若年層への意識啓発が必要。
	④ 地球と未来にやさしく、低炭素型社会を構築できる
東播磨地域ビジョン委員会	
該当なし	
行政	
東播磨地球温暖化防止活動推進事業 エコツーリズムバス活用支援 CO ₂ 見える化強化事業の実施 エコ広場サミットの開催	
検証（指標）	
太陽光など「再生可能エネルギー」を利用する取組に参加している、または参加したいと思う人の割合（指標10） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】40.1% → 【H29】26.7% → 【H30】23.9% → 【R1】23.0%（3位） 日頃から節電に取り組んでいる人の割合（指標11） 兵庫のゆたかさ指標 電気のムダ使いに気をかけるなど、環境に配慮している人の割合（H24まで） 【H22】85.0% → 【H29】80.1% → 【H30】79.1% → 【R1】77.0%（5位） 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人の割合（指標12） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】63.7% → 【H29】62.0% → 【H30】55.1% → 【R1】58.6%（3位）	
評価	
地域ビジョン委員会で再生可能エネルギーや省エネについて特に力を入れて取り組んだグループはなかった。 行政は率先した再生可能エネルギーの利用と共に、地球温暖化防止についての普及啓発を進めた。 しかし環境問題への意識は低下傾向にあるため、低炭素型社会の実現に向けた意識啓発について粘り強く取り組む必要がある。	

